

Z-1:賛助会員セッション

開催日時・会場 9月14日(火曜日) 10:30 - 12:00 WEB-ONLY

URAが推進する研究力強化に資する研究支援DXとは

ウィズ・ポストコロナ時代の大学変革のために多くの大学で全学的なデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が始まっています。そして研究力強化のために、研究担当理事等の大学執行部とともにURAやIR担当者が中心となり、「研究支援DX」に係る独自の組織的な取組みを進めている大学もあり、研究支援業務のデジタル化、効率化や標準化、ひいては業務や組織そのものの変革が期待されています。

そこで今回、「URAが推進する研究力強化に資する研究支援DXとは」をテーマに、弊社の研究力分析ツールSciValおよび研究情報管理システムPureを活用している岡山大学の主任URA松本匡史様および東京理科大学の研究戦略・産学連携センター・研究戦略部門の福田哲也様をお招きし、研究支援DXに関する両大学での状況や課題、そして課題解決への独自の取組みをご紹介いただくセッションを開催いたします。

・岡山大学の松本様からは、Pureや大学データベースを活用することで、学内の研究シーズの発掘・育成、研究費獲得支援の効率化、標準化を行い、またSciValを利用し全学的に研究IRを活用できる体制を整備していること等についてお話しいただきます。

・東京理科大学の福田様からは、SciValを活用して研究業績の見える化、現状把握を行い、次期中期目標・計画をエビデンスベースでどう策定してくか等についてお話しいただきます。

・弊社コンサルタントの高橋昭治からは、研究支援DX を念頭に置いたScopus、SciVal、Pureのデータおよび機能の活用方法についてご紹介いたします。

セッションの最後にはQ&Aの時間も用意します。DXを念頭に、URAのみなさまが大学の研究力強化にどのように貢献できるのかについて直接お聞きいただける良い機会となります。

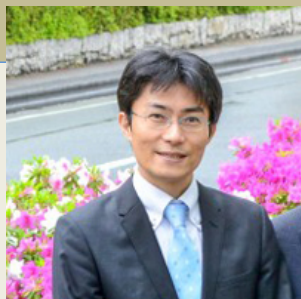
オーガナイザー

堀 勝彦：エルゼビア・ジャパン株式会社・マーケティング
マネージャー

NO
PHOTO
AVAILABLE

講演者

松本 匡史:岡山大学・学長特命(研究担当)・主任リサーチ・アドミニストレー(URA)



岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。自然科学研究機構基礎生物学研究所にて生命科学の研究に従事した後、2015年4月より岡山大学にURAとして着任。主に研究IRや学内の研究支援制度を担当。学内の様々な部署との連携強化により、IRの更なる活用を模索中。

福田 哲也:東京理科大学・研究戦略・産学連携センター 研究戦略部門・URA



慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了、博士(医学)。自治医科大学、国立精神・神経センター、理化学研究所(脳科学総合研究センター)にて医学教育及び神経疾患の病理学研究に従事した後、理化学研究所(本部)、JST研究開発戦略センターにて科学技術政策の立案や新規研究プロジェクトの企画・発足等に携わる。2015年4月より現職。現在は主に、研究IRに基づく学内の研究戦略立案に取り組んでいる。

高橋 昭治:エルゼビア・ジャパン株式会社・リサーチ・インテリジェンス部門・カスタマー・コンサルタント

NO
PHOTO
AVAILABLE

エルゼビア・ジャパンにおいて、ScienceDirectをはじめとする電子製品のマーケティングやコンサルティングを経て現職。大学・政府機関のお客様向けに、Scopus、SciVal、Pureなどのリサーチ・インテリジェンス製品を使った研究力分析や研究戦略立案に関するコンサルティングを担当している。